

2021年市民社会川柳ベスト10

NPO法人市民社会研究所のホームページ上に掲載している「市民社会川柳」の中から、役員の投票により本年のベスト10を選びました。今回は投票数が拮抗したため順位は付けず、内容別に並べました。

(カッコ内の番号は、ホームページ上の作品番号)

☆ウィルスが相手にやり場のない怒り (51) 作 吉武三和子

コロナ禍は丸々2年続きした、いまだに収束の見込みがたっていません。

☆リーダーの資質を見える化するコロナ (7) 作 松井真理子

コロナ対応で支持率が上がったリーダーもいれば、辞めることになった首相も。

☆「会食の自粛」をテーマに会食し (2) 作 坂東 行和

国民に自粛を強いながら、会食していた政治家や官僚が続々。

☆強いられた自粛を「自粛」という不思議 (79) 作 坂東 行和

公権力よりも「自粛警察」の方が怖い日本社会。

☆食い物屋「食っていけぬ」と泣く憂き世 (84) 作 坂東 行和

コロナ禍で飲食店は特に被害を被りました。

☆「より速く、より高く、より強く」なるコロナ (77) 作 松井真理子

コロナ禍の中で強行された東京オリンピック。

☆ぼったくり正体見たり I O C (56) 作 松井真理子

世界に拡散された「ぼったくり男爵」は言い得て妙でした。

☆何千の弁当捨てるエコ五輪 (81) 作 松井真理子

何から何まで大混乱だった東京オリンピック。

☆大学を食べ物にした「ちゃんこ鍋」 (132) 作 坂東 行和

遂に逮捕された日大前理事長。奥さん経営のちゃんこ屋が悪事の舞台だったそうです。

☆強制終了アベノマスクも森友も (133) 作 松井真理子

岸田首相に代わって、安倍元首相の負の遺産を断ち切る動きが始まりました。